今後の感染症対策に、保健所の増設を！

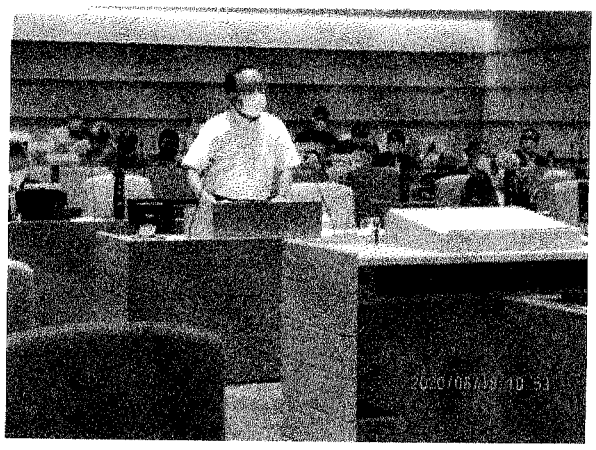
－生活圏域にＰＣＲ検査体制を－

尾道民報

日本共産党
市議会議員団
週刊議会報告
【発　行】
岡野長寿
（0845-22-2596）
三浦とおる
（0848-48-5044）

6／18　一般質問

自分が感染しているかどうか電話相談だけではダメ、気軽に検査を受けられる体制を



一般質問する岡野長寿市議

岡野長寿市議は、「日本ではＰＣＲ検査数が諸外国と比べて少ない問題を提起、『広島のほうに電話してくれ』ではなく、生活圏域に保健所を復活させ、気軽に検査ができる体制をつくることが重要」と指摘しました。

平谷市長は、「県保健環境センターと広島市衛生研究所の２カ所が検査機関となっている。献体採取ができる帰国者・接触者外来は非公表とされている」「保健所の増設を求めることについては、国の対策として保健所の負担軽減を考え、人員の確保やシステム導入を検討されている」と答えるのみで、この間、保健所を激減させてきた国の政策の誤りを指摘する岡野市議の質問には明言を避けました。

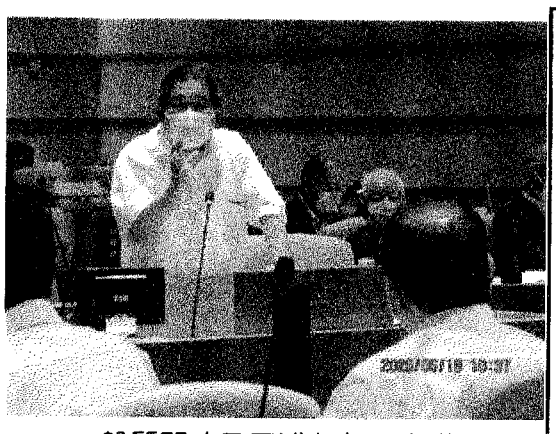
買える人だけメリットの商品券はダメ、全ての市民に１万円以上の商品券支給で市内経済の活性化を

また、岡野市議は、観光協会などから出されている要望にどう答えるのか、「検討する」では過ちの繰り返し、スピード感が求められると、市内限定の商品券支給の決断を求めましたが、「検討する」の繰り返しでした。

因島総合病院の夜間救急が再開できるよう支援を

平谷市長は「昨年の因島総合病院の受け入れは２９０件、医師不足により救急部門が縮小され、４月から夜間の受け入れができなくなるとのことから、市立市民病院とＪＡ尾道総合病院を中心に受け入れを行っている」と答弁。

岡野市議は、毒蛇やハチ被害など、緊急の医療に対する不安が広がっていると市民の声を紹介、ぜひ検討をと要請しました。



一般質問する三浦とおる市議

コロナ対策に全力を　コロナ禍の中での学校再開に伴う様々な問題に対してどのように対応していくのか、教育委員会に説明を求める。

三浦市議は、一般質問で学校再開に伴う様々な問題・課題について教育委員会に説明を求めました。

今後の授業時間の確保と児童・生徒に対しての学習面やメンタル面でのサポート体制について大きな課題があることがはっきりしてきました。

学習面については、学習支援講師やアシスタントを配置して、きめ細かい指導に当たっていくと説明がありましたが、学習支援講師、アシスタントともに、各校１名の配置に数が足りていないことが判明いたしました。少なくとも各校１名の配置になるよう努力をしていくことを強く要望いたしました。

メンタル面については、児童・生徒の学校での生活をサポートしていくために、保護者からもアンケートを取り、児童生徒の様子をしっかりと把握して指導に当たるよう要求しました。

また、学校の耐震化の問題では、久保・長江・土堂小学校の耐震化に伴うプレハブ校舎への移転問題を取り上げ、時数が足らない状況化で行なうべきでないとして、計画の再考を求めました。

教科書展示会が始まっています

文教委員会（６月２５日）で、岡野市議が教科書採択公開を求めて質疑をする予定です。

来年度から使用される尾道市立中学校の教科書用図書の公開展示会が始まっています

中央図書館と因島図書館での展示は６月１０日から６月２３日までです。

次の展示会場は、みつぎ子ども図書館と瀬戸田図書館で展示会が行なわれます

日程は６月２４日から７月７日までとなっています。展示時間は、みつぎ子ども図書館が９時から１９時まで、瀬戸田図書館が１０時から１８時までになっています。教科書市民の会では、憲法の精神に基づき、子どもの権利条約を重視した教科書が採択されるように請願を出しています。

教科書用図書の中には、主に社会科の公民、歴史の教科書、特別な教科道徳の教科書の一部に大変問題のある教科書が存在しています。そのような教科書が採択されないよう子どもたちの視点で市民の皆さんが会場においてあるアンケートで問題点を指摘していただくことで市民による教科書採択につながってきます。

市民の力で子どもたちに素晴らしい教科書を使わせてあげましょう。

教科書採択については、現在、署名も集めております。ぜひ、ご協力をお願いいたします

また、尾道市では教科書採択会議が、非公開のままになっています。採択会議も公開するようにしっかりと要求をして、採択介護を公開させていきましょう。